

Question 2

どんな市をめざすの？

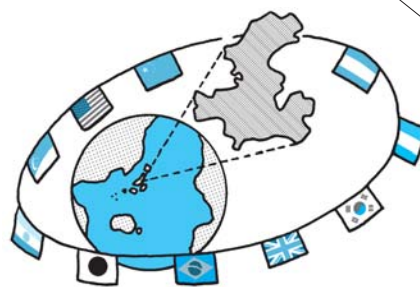
■ 将来計画

住み続けたい地域には、必ずその地域に誇りがあります。地域の誇りを持って、全国どこへ行っても、自信を持って「美濃加茂」の名前を出せる地域にしていきたいと思います。

では、具体的にどんなことに取り組んでいくのでしょうか。

たとえば、産業振興の分野において、地域の特産物を地域の民間企業とタイアップして新しい商品として開発し、販売ルートを拡大することができれば、全国に誇れる美濃加茂の特産品としての夢がふくらみます。

こうして、地域の民間企業などとの連携により、医療、福祉、教育など、あらゆる分野において、バランスのとれた、地域に生活する人が自慢できるオンリーワンのまちづくりを進めていきます。



Question 3

今、どんなことをやってるの？

■ 民間共生ビジョン懇談会、推進会議

地域が自立するためには、地域の民間企業や団体が元気でなければなりません。そのために、市役所だけでなく、民間の方々の夢や希望をどんどん計画に取り入れていくことが重要です。

現在は、市内の企業経営者の方々などで、将来の夢を語る「共生ビジョン懇談会」やその夢を現実にするための「ビジョン推進会議」を設置して、将来の美濃加茂市について話し合いを進めています。



▲「定住自立圏共生ビジョン懇談会」

Question 4

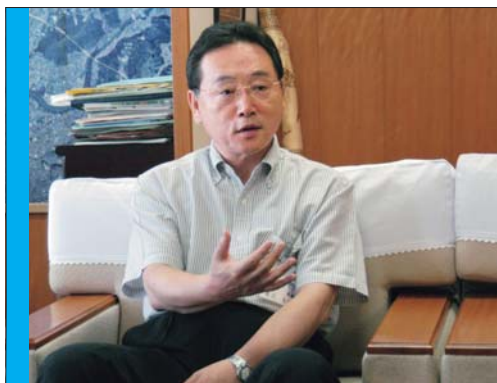
これからどんなふうに進めるの？

■ 第1号として坂祝町と協定

構想は、1対1の協定を結ぶことでその一歩が始まります。周辺の町村とは全く同じ立場で協議を進めていますが、その第1号としてお隣の坂祝町との協定を先行していきたいと思っています。今後、さらに地域を拡大していきたいと考えています。

■ 市議会議決

協定を結ぶためには、市議会と町議会の決定が必要です。それぞれの地域の強みや課題について協議し、お互いに納得できる内容について協定することになります。



生き残れる都市をめざして

定住自立圏構想は、全国の都市がお互いに競い合いながら進めています。国も、積極的に企画・提案を出す都市には、どんどん支援をすることを約束しています。美濃加茂市も、全国に先駆けて、将来も地域のリーダーとして生き残れる都市を目指し、構想を積極的に進めていきます。

美濃加茂市長 渡辺直由